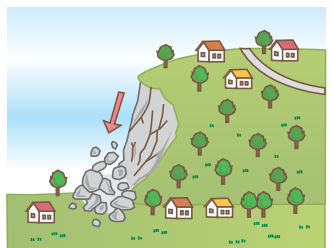




起こりうる災害を知ろう。

土砂災害編

土砂災害は、地表の土砂や岩が崩れ落ちるなどの、大雨、豪雨時に起きやすい災害です。予想が非常に難しく、繰り返して発生したり、大きな被害を及ぼすこともあります。

● がけ崩れ ●	● 土石流 ●	● 地すべり ●
 <p>特徴 地中にしみ込んだ水分が土の抵抗力を弱め、雨や地震などの影響によって急激に斜面が崩れ落ちることをいいます。がけ崩れは、突然起きるため、人家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く死者の割合も高くなっています。</p> <p>前兆</p> <ul style="list-style-type: none"> ● がけに複数の割れ目が見える ● がけから水が湧き出しているの見える ● がけから小石が落ちてくる 	 <p>特徴 山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流されるものをいいます。その流れの速さは規模によって異なりますが、時速20～40kmという速度で一瞬のうちには人家や畑などを壊滅させてしまいます。</p> <p>前兆</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 急に川の水が濁り、流木が混ざり始める ● 雨が続いていても川の水位が下がってくる ● 山鳴りが聞こえる 	 <p>特徴 斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。一般的に移動土壌量が大きいと、甚大な被害を及ぼします。</p> <p>前兆</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 沢や井戸水が濁る ● 山の斜面に地割れができる ● 山の斜面から水が湧き出している

住んでいる場所の危険箇所をチェック

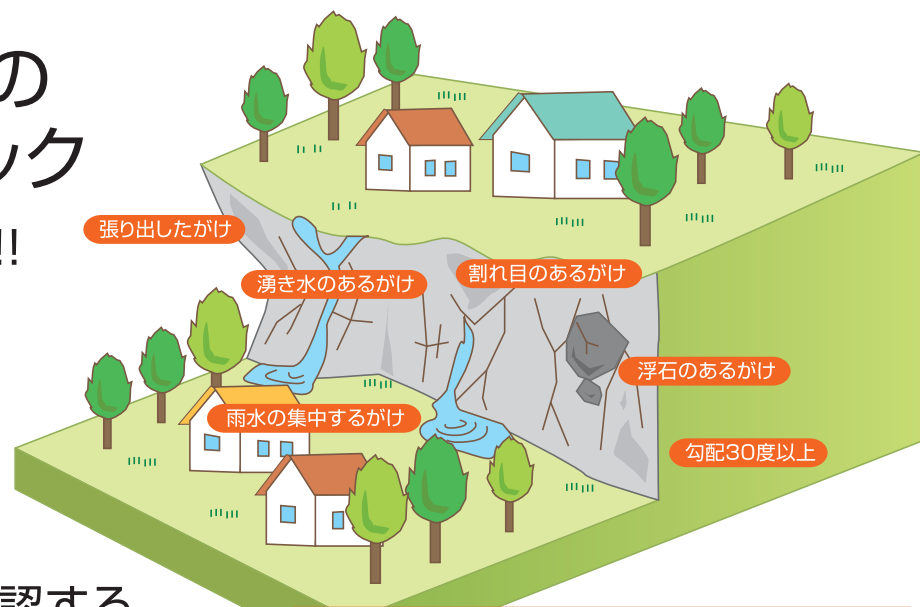
● こんながけは危険です!!

- 割れ目が多い
- 張り出している
- 湧き水がある
- 雨水が集まりやすい
- 浮石が多い
- 勾配が30度以上ある

住んでいる場所が土砂災害危険箇所か確認する

土砂災害は、「土砂災害危険箇所※」で多く発生します。普段から住んでいる場所や隣接地について確認しましょう。

※土砂災害危険箇所：一定の基準に従って調査を行った結果に基づき潜在的な危険がある箇所をいいます。



土砂災害危険箇所図
<http://www.kasen.pref.yamagata.jp/sabou/kiken/index.html>
 土砂災害警戒区域等の指定状況
http://www.pref.yamagata.jp/ou/kendoseibi/180010/sabo/dosyakuiki_top.html

土砂災害に備えて

気象情報・土砂災害警戒情報に注意

雨が降り出したら、テレビやラジオ、インターネットなどにより、気象情報や土砂災害警戒情報の情報収集を心がけましょう。土砂災害が発生する多くの場合は「土砂災害警戒情報※」が発表されています。



■気象情報・土砂災害警戒情報 ※土砂災害警戒情報：大雨による土砂災害発生の危険度が高まったときに、都道府県と気象庁が共同で発表する防災情報です。

気象庁ホームページ
 (防災気象情報：気象情報) <http://www.jma.go.jp/kishojoho/> (防災気象情報：土砂災害警戒情報) <http://www.jma.go.jp/dosha/>

早めの避難を

土砂災害警戒情報が発表されたら早めに避難する

山間地やがけ地付近、溪流沿いなどに住んでいる方は、「土砂災害警戒情報」が発表されたら、早めに安全な避難場所等に自主避難しましょう。

少しでも危険や異常を感じたら、すぐに避難する

土砂災害が起こる場合、山の斜面や川をよく観察してみると、多くの場合、前兆現象(危険信号)と思われる変化がキャッチできます。

土砂災害から身を守るために

土砂災害の危険がせまったときは、すばやく避難することが大切です。いつもと違う大雨が降っているときは、テレビやラジオの気象情報を注意深く聴くようにしましょう。少しでも危険や異常を感じたら、すぐに避難しましょう。また、土砂災害の多くは木造1階で被災しています。豪雨などでどうしても避難場所等への避難が困難なときには、次善の策として、近くの丈夫な建物の2階以上に緊急避難したり、それも難しい場合は家の中で安全な場所(例えば、がけ等の斜面から離れた部屋や2階以上など)に避難しましょう。



竜巻・突風に備えて

竜巻・突風編

竜巻は、発達した積乱雲に伴って発生する激しい渦巻です。短時間で狭い範囲に集中して甚大な被害をもたらします。また、移動スピードが非常に速い場合があります。積乱雲は、竜巻の他にもダウンバーストやガストフロントと呼ばれる破壊的な強風を引き起こすこともあります。

■建物等の被害は防げませんが、身の安全を守るための対策は可能です!

「竜巻注意情報」が発表されたり、周囲が急に暗くなるなど発達した積乱雲の近づく兆しが見られる場合は、竜巻・突風が発生する危険性があります。

- 人が大勢集まる屋外行事やキャンプ、高所での作業中など、安全確保に時間がかかる場合は、早めの避難を心がけましょう。
- 竜巻が迫った場合は、ただちにできるだけ頑丈な建物内に避難しましょう。車庫や物置、プレハブなどは、壊れたり飛ばされたりするかもしれないので危険です。

屋内の場合

- 不要不急の外出を控える
- 地下室や建物の最下階に移動する
- 雨戸・シャッターを閉め、カーテンを引く
- 窓やドアから離れ、部屋の中央部に移動する
- 頑丈な机の下に入り、両腕で頭と首を守る



屋外の場合

- 車庫や物置、プレハブを避難場所にしない
- 橋や陸橋の下に行かない
- 近くの頑丈な建物に避難する。近くに頑丈な建物がない場合は、近くの水路やくぼみに入って身を伏せ、両腕で頭と首を守る
- 飛来物に注意

